

建築積算士更新講習 理解度テスト 【解答編】

社団法人 日本積算協会

1. 建築積算士は、実施設計完了後に数量積算ならびに工事費の算定を行う専門家である。
(P. 12) ×
2. 建築積算の目的は、建物のライフサイクル全般にわたってコストマネジメントを行うことである。(P. 15) ○
3. 近年の建築物は、大規模化・高層化が進み、環境負荷削減も同時に重要な課題となっている。
(P. 24) ○
4. 故障・取り替え・大規模更新・修繕の頻度が高い建物は、LCC分析の対象としては適していない。(P. 34) ×
5. LCCで扱うコストは、割引率や価格変動率を考慮した、現在価格を使用する。
(P. 37) ×
6. 少々機能が下がるが、それ以上に安いコストのものは、コスト低減型のVEである。
(P. 41) ×
7. VE提案付入札は、原設計に対する金額を入札するが、改善案も同時に提案する方式である。
(P. 44) ×
8. CASBEEは日本における環境評価システムであり、プラチナ、ゴールドといったランクで評価される。(P. 50) ×
9. 省エネ化技術として、長寿命化やエコマテリアルの使用がある。(P. 53) ○
10. 現場管理費のうち保険料には、労災保険を含むが、生命保険は含まない。(P. 69) ○
11. 一般管理費等とは、現場管理費を除く営業利益のことを言う。(P. 70) ×
12. 工期の短縮による共通仮設費における実際の変動項目としては、クレーンや仮囲あるいは警備員といった積み上げ分のみが対象となる。(P. 73) ×
13. ネットワーク工程表は、作業パッケージごとの工程を横棒で示すもので、作業間の関連がわかりやすく、一般的に使用されている。(P. 76) ×
14. 基礎躯体のクリティカルパスとなるのは鉄筋工事であり、上部躯体のクリティカルパスとなるのは型枠工事である。(P. 81、82) ○
15. 油圧式大型ブレーカーは、油圧式圧砕機に比べて音と振動の発生が大きい。(P. 87) ○
16. 建築物の建て替えの場合、地下外壁を残すように、新築建物の位置を決めなければならない。
(P. 90) ×
17. 既存建物の解体撤去に際して、杭は全て引き抜くことが望ましい。(P. 91) ×
18. 改修を行う要因として、耐震。防災性能や設備陳腐化・省エネ対応も大きな比重を占めている。(P. 102~104) ○

19. 改修工事に際し、建物の営業を一時的にストップさせるケースが一般的で、そのため複数の要因を同時期に行うことが多い。 (P. 104) ×
20. 設備改修工事に先立つ本調査における配管診断には、サンプリング (抜管)、超音波診断、内視鏡診断などがある。 (P. 112) ×
21. 設備工事改修計画において、年度ごとの変動を平準化するよう計画修正を行うことが望ましい。 (P. 115) ○
22. 分譲集合住宅において、各住戸の玄関ドアや窓サッシは共用部分のため、居住者は内部塗り替え等の工事を行うことができない。 (P. 118) ×
23. 法律とは、国会や地方公共団体議会で議決し、国民の権利・義務を規定するものである。 (P. 126) ×
24. 耐震性を規定している法律に、建築基準法、住宅品質確保法、密集市街地整備法、長期優良住宅法がある。 (P. 128) ×
25. 住宅品質確保法は、新築・改修住宅の瑕疵担保責任に関する特例、住宅性能表示制度、紛争処理体制で構成されている。 (P. 131) ×
26. 電気設備において、火災に対する安全性についての代表的な法規に、自動火災報知設備の設置、非常電源設備があるが、機械設備の内容により電気容量が大きく影響を受ける。 (P. 135) ○
27. 機械設備において、火災に対する安全性についての代表的な法規に、スプリンクラー設備の設置、屋内消火栓設備の設置、泡消火設備の設置といったものがある。 (P. 136、137) ○
28. 2008年5月30日に公布された改正省エネ法は、省エネ措置が著しく不十分な場合の命令の導入、一定の中小規模 (200㎡～3,000㎡未満) の建築物について省エネ措置の届け出義務化というように、厳しいものとなっている。 (P. 139) ×
29. 法の改正等により現行の規定に適合しない場合、既存不適格建築物となり、どのような場合でも改正法を適用されることはない。 (P. 141) ×
30. コストマネジメント業務において、法的責任を問われるリスクを防止するためには、依頼主を選ぶ、依頼主の意向を十分確認し記録に残す、既存の積算賠償保険に加入する、契約書により責任範囲を明確にするといったことが必要となる。 (P. 152、153) ×

★ アンダーラインが、間違い部分です。